

2023.12.15 現在

大会係員競技資料作成 のためのガイドライン 2023



公益財団法人全日本柔道連盟 大会事業委員会

はじめに

全日本柔道連盟大会事業委員会では、従来の「大会運営規程」をわかりやすくスリム化し、重要なポイントを取り上げた「大会運営ガイドブック」を作成し、統一した大会運営ができるよう進めて参りました。

また、各種大会に委員を派遣し、大会運営関係者が最新版の「大会運営ガイドブック2023」に則った運営ができるように指導・助言を行い、大会を成功させるとともに国内における大会運営手順を統一化できるよう鋭意活動をして参りました。

まだ記憶にも新しい、2020年初頭より日本でも新型コロナウイルスの感染拡大が始まりましたが、現在では、5類となり以前の様に観客の声援のある中、大会も開催され、選手も日ごろの成果を思う存分発揮できる場面が多く見受けられるようになりました。

大小各種大会はございますが、この度、「大会運営ガイドブック2023」と合わせて、競技係員用のマニュアルも更新しております。全日本柔道連盟が主催する大会で、実際使われている資料を例に、大会前の準備から順を追って分かりやすく校正された内容となっております。今後も常に選手、観客、メディアに配慮した準備、進行、運営を念頭に、随時この競技運営用のマニュアルを更新して参りたいと考えておりますので、是非とも各大会にてご活用頂けると幸いです。

全日本柔道連盟 大会事業委員会委員長
岡泉 茂

競技係員用マニュアル

大会運営のためには、係員必携（マニュアル）が必要です。大会によっては、様々なマニュアルを作成していますが、全日本柔道連盟の主催大会等で作成しているマニュアルをお示ししますので、参考にいただければ幸いです。また、大会運営で作成した資料を随時更新していきますので、各種大会でご活用ください。

大会運営三大原則（全柔連大会運営規程より）

大会の規模や参加する選手のレベルにより大会の運営方法が異なる場合でも、次にあげる3つの事項については厳守しなければならない。

最大限、選手の立場に立った準備、進行、運営を行う。

最大限、観客に配慮した準備、進行、運営を行う。

最大限、メディアに配慮した準備、進行、運営を行う。

競技係員用マニュアルの構成(例)

作成した資料は✓しましょう

No.	内容	更新日	✓
1	大会スケジュール		
2	大会要項		
3	係員リスト		
4	タイムテーブル		
5	組合せ(トーナメント表)		
6	会場図面(全体・詳細・試合会場)		
7	座席表		
8	トランシーバー割当表		
9	各係マニュアル(競技)		
10	放送原稿		
11	放送原稿(決勝戦)		
12	放送原稿(表彰式)		
13	資料 コンテストオーダー		
14	資料 タイマー各種リンク(事前確認)		
15	資料 SEIKO システムと手書き記録用紙の流れ		
16	資料 技名称リスト		
17	資料 SEIKO システム試合記録罰則内容一覧		
18	資料 記録用紙記入例		
19	資料 ダイレクト反則負け報告書		
20	資料 柔道衣コントロール		
21	資料 計量		
22	資料 動線図		
23	資料 審判員リスト		
24	資料 欠場者リスト		

1 大会スケジュール

作成例

大会準備にあたり、大会前日(会場設営)大会終了(撤収)までのスケジュールを作成する。

各現場におけるスケジュールが同じ時間軸で確認できるように作成する。
メインアリーナ(試合場)・サブアリーナ(練習会場)・その他(計量会場等)

大会前日

時間	メインアリーナ	サブアリーナ (計量会場)	その他
9:00	会場設営開始 養生シート・ひな壇設営	練習会場畳敷き込み	会議室設営開始
10:00	職員集合		会議室・計量会場・ ドーピング会場
11:00	畳敷き込み	選手・帯同者・コーチ受付	
12:00			
13:00	テレビ局中継設営作業開始 畳清掃	前日練習解放	
14:00			
15:00	タイマー・CARE システム設置 コピー機搬入		
16:00	テレビ局打合せ		審判会議
17:00	係員打合せ		代表者会議
18:00		非公式計量(18:30~19:00)	
19:00	設営完了	公式計量(19:00~19:30)	
20:00	職員等解散・会場施錠	会場施錠	

2023.12.15 現在

大会当日

時間	メインアリーナ	サブアリーナ (計量会場)	その他
6:00			
7:00	選手受付・一部係員集合	選手受杖・練習会場開放	選手受付
8:00	係員集合・練習会場開放 係員打合せ	当日計量案内 当日計量	当日計量案内 当日計量(会議室)
9:00	開会式 試合開始(9:30)予選ラウンド		
10:00			
11:00			
12:00			
13:00	決勝ラウンド開始		
14:00			
15:00			
16:00			
17:00	試合終了・閉会式・表彰式	練習会場撤去開始	会場撤去開始
18:00	係員撤収・解散	撤去終了	ドーピング終了後撤去開始
19:00	撤収・解散		撤去終了
20:00	撤収終了		

2 大会要項 作成例

大会委員会等により作成され、選手に発信された大会要項を添付する。

2023 年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 要項 (2023/9/26)

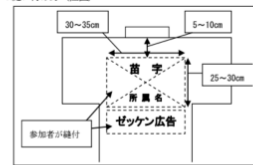
1. 目的 2023 年度後期の全日本強化選手を選手と共に、グラندスラム東京 2023 をはじめとする国際大会の日本代表選手を選手とする。
2. 期 日 2023 年 11 月 4 日(土)、5 日(日) 開会 09:00/閉会 17:45(予定)
3. 会 場 千葉ポートアリーナ (千葉県千葉市中央区開港町 1-20 Tel043-241-0006)
4. 主 催 公益財団法人全日本柔道連盟
5. 主 管 千葉県柔道連盟
6. 特別後援 公益財団法人講道館
7. 後 援 一般財団法人上月財団、NKR、読売新聞社、千葉県、千葉県教育委員会、千葉市、千葉市教育委員会、公益財団法人千葉市スポーツ協会
8. 特別協賛 コマツ・日本エースサポート
9. 協 賛 パナソニック、ミズノ、近畿日本ツーリスト、東洋水産、セイコーグループ、三井住友海上火災保険、日本航空、大塚製薬、東日本旅客鉄道、シズオカトク、大和証券グループ本社、みずほフィナンシャルグループ、ブイ・テクノロジ、エアウィーヴ、羽田ターミナルサービス、旭化成、ジャパンエレベーターサービスホールディングス、センコー、ALSOK、日本通運、TPR、豆蔵 K2TOP ホールディングス (予定)
10. 出場資格 (1)2023 年度全柔道登録をした者。
(2)強化委員会から選出された者。
(3)日本国籍を有し、今後、日本代表として活動して意思のある者。
11. 試合方法 (1)国際柔道連盟試合審判規程で行う。
(2)試合はトーナメント戦で行い、敗者復活戦・3位決定戦を行わず、5位決定戦を行う。
※今年度は試合方法が変更となっています。
12. 日 程 【大会日程】
11月4日(土)「女子」48kg 級 52kg 級 57kg 級 63kg 級 70kg 級 78kg 級 78kg 超級
11月5日(日)「男子」60kg 級 66kg 級 73kg 級 81kg 級 90kg 級 100kg 級 100kg 超級
【前日計】対象者：全選手
日 時：女子→3 日(金)/男子→4 日(土) **18:00~18:30(公体計量 17:30~18:00)**
場 所：大会会場内
【当日計】対象者：抽選で選ばれた各階級 4 名の選手(超級は実施しない)
日 時：女子→4 日(土)/男子→5 日(日) **08:00~08:45**
場 所：大会会場内
下記の当該階級許容体重を超えた場合、もしくは計量を行わなかった場合は出場できない。
対象者は開会時刻の 10 分前に全柔道 IP 上に対象者が掲載される。対象となった選手は上記時間内に計量を行うこと。(時間内であれば何度でも測定することができる。)
階級・許容体重：

日付	階級	許容体重 (kg)
11/4	48kg 級	50.4kg
	52kg 級	54.0kg
	57kg 級	59.0kg
	63kg 級	66.2kg
	70kg 級	73.5kg
	78kg 級	81.9kg
	78kg 超級	実施しない
11/5	60kg 級	63.0kg
	66kg 級	69.3kg
	73kg 級	76.7kg
	81kg 級	85.1kg
	90kg 級	94.5kg
	100kg 級	105.0kg
	100kg 超級	実施しない

※予備計量として、サブアリーナに体重計を設置

2023 年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 要項 (2023/9/26)

14. 審判員 全柔道指導者資格 A または B を有し、2023 年度全柔道登録をした者のみがコーチに帯同することができる。コーチとして帯同する指導者は選手の参加回答書に必要事項を記入の上、参加を申込むこと。資格を有しない者は大会 ID は発行されない。帯同する指導者の変更は 11 月 1 日(土)正午までに審判員にて大会事務局へ届出のあったものまで認める。
15. 前日練習 試合前日の大会会場での練習利用は不可とする。
16. 審判会議 11 月 3 日(金・祝)16:00~ 千葉ポートアリーナ
17. 服 装 **2022 年 1 月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールを実施する。着脱しやすくは防衛装備**
試合者は下記規格の柔道衣を着用すること。※本大会は、「背系柔道衣」を採用する。
① 白柔道衣について
全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣を着用すること。
② 青柔道衣について
全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣、または国際柔道連盟公認マーク(特許で囲われた JF マーク)がついている柔道衣を着用すること。
③ 帯について
国際柔道連盟公認マークまたは全柔道連盟番号ラベル(「J」 と 4 桁の数字が入ったラベル)がついている帯を着用すること。
全柔道連盟柔道衣規格品のリストは全柔道 IP を参照すること。
柔道衣の大きさ又は規格が規程に合わない場合は出場を認めない。(主催者は予備の柔道衣を準備しない。)
各自、以下の要領で縫い付けを行うこと
※「苗字」所属名のゼッケンは参加者各自が準備し、男女共に主催者から送付されたゼッケン広告を各自で縫い付ける
※主催者指定の広告以外のゼッケン所属名をロゴ等で表記したゼッケンの使用は認めない
①布地は白色とし、苗字を上部 2/3、所属を下部 1/3 に記載すること。
②書体は楷書体とし、ゴシック体または明朝体を用いること。
③男子は黒文字、女子は赤文字とする。
④サイズは、横 30cm~35cm、縦 25cm~30cm。
⑤後ろ襟から 5~10cm 下部に縫い付け、対角線にも強い糸で縫い付けること。
⑥送付されたゼッケン広告も必ず縫い付けること。ゼッケン広告が縫い付けられない場合は出場を認めない。
※ゼッケンの縫い付け方(位置)
18. ゼッケン



2023 年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 要項 (2023/9/26)

19. 注意事項 (1)エントリーフォームおよび顔写真の提出
指定の回答フォームから回答を入力し、送信すること。記入による提出は認めない。
申込期限 10 月 4 日(土)
(2)参加申し込み料
1人 **¥6,000 円**を 10 月 4 日(土)までに下記口座へ振り込むこと。
振込先：三菱UFJ 銀行 春日町支店 普通 087132 公益財団法人全日本柔道連盟
(3)欠場について
欠場の場合は連日4日指定の形式で提出すること。その際、参加申込料の返金は行わない。
空席化による低稼働の理由で欠場する際は診断書を併せて提出すること。
20. 表彰 各階級の 1 位~3 位までを表彰する。
21. 組み合わせ 10 月下旬にホームページ上で発表する。
22. 宿泊料 宿泊の希望を希望する者は、下記旅行代理店の宿泊申込みサイトへ申し込むこと。
近畿日本ツーリストコーポレートビジネス トラベルサービスセンター東日本
宿泊申込みサイト: <https://sports.knt.co.jp/tour/kodokan-hai2023/>
申込締切 10 月 3 日(火)
23. その他 (1)皮膚真菌症(トングラス感染症)の発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。万が一、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
(2)全日本柔道連盟 トレーニング防止規程によりトレーニング検査を行う。
(3)傷害保険については、出場選手の傷害保険は、主催者が加入しその費用を負担する。本大会の会場において事故が発生した場合、予め主催者が手配した医師、看護師等の医療関係者が応急処置を行った。医療施設への搬送の必要性を判断の上搬送を行い、または行かないことがあるが、これらの搬送、判断等について故意または重大な過失が認められれば、医療関係者は責任を負いません。
(4)NKR B S 1 にて放映予定。
(5)脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。
大会前 1 ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。(受傷した時点で必ず専門医を受診すること)
練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を出発すること。
(6)個人情報、肖像権の取り扱いについて
・参加申込フォームに回答した個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔道ホームページ、大会ホームページ、セイコースポーツリンク、その他当連盟が認める柔道普及に関わる広報活動に掲載・使用される場合がある。
・全柔道の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。

2023 年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 要項 (2023/9/26)

- ・大会中に撮影する映像(ケアシステム等)を、審判員および指導者の技術向上のための研修会資料として使用する場合があります。
- ・提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。
- ・参加申込フォームの回答により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。
- (7)大会に関するお問い合わせは、本連盟大会事務局 E-mail: taikai@judo.or.jp まで、

以上



スポーツ振興基金助成事業

この大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催されています。
<http://www.naath.go.jp/> 独立行政法人日本スポーツ振興センター

3 係員リスト

作成例

委嘱された係員一覧を添付する。連絡等に活用。

総務部	部長	●● ●●			
	総務係	●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●●			
	受付接待係	●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●●			
会場部	部長	●● ●●			
	会場係	●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●●			
	練習会場係	●● ●● ●● ●● ●● ●●			
競技部	部長	●● ●●			
	副部長	●● ●●			
	競技進行係	●● ●● ●● ●●			
	放送係	●● ●● ●● ●●			
	本部記録係	●● ●● ●● ●●			
		第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
	試合場統括係	●● ●●	●● ●●	●● ●●	●● ●●
	時計係	●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)
	PC記録係	●● ●●	●● ●●	●● ●●	●● ●●
	記録係	●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)
	VTR係	●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)
	選手係(コントロール)	●● ●● ●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● ●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● ●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	●● ●● ●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)
	連絡係	●● ●● (学生)	●● ●● (学生)	●● ●● (学生)	●● ●● (学生)
	掲示係(ビジョン)	●● ●● ●● ●● ●● ●●			
計量係	●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●●				
式典係	●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●●				
広報係					

※ その他、必要な部署のリストを追加する

(例：医療衛生部・ドーピングコントロール部・審判部等)

4 タイムテーブル

作成例

大会を進行するためのタイムテーブルを作成する。

※ 進行用のタイムテーブルは、詳細な時間等が掲載されているため、外部に出さないようにする。(時間軸を削除したものを発信する)

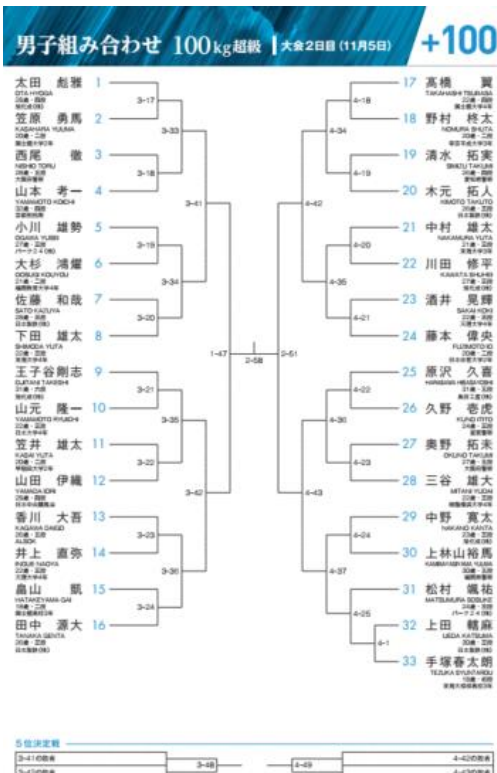
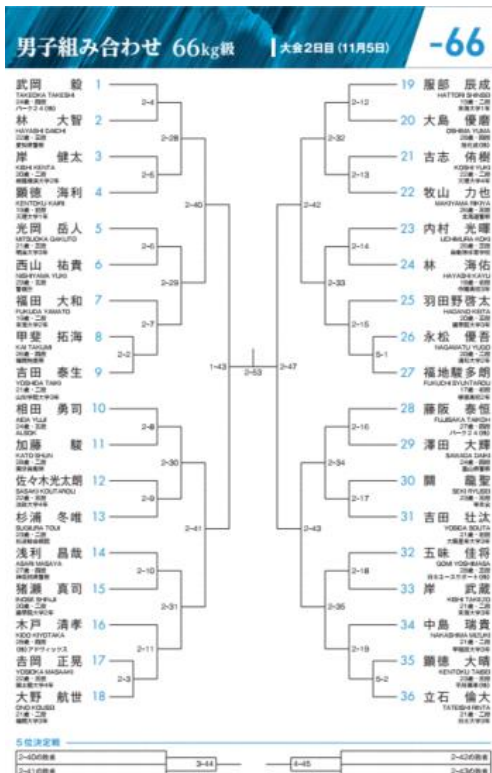
2023年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 進行表									
11月5日(日)		男子7階級				2023/10/27			
第1試合場		第2試合場		第3試合場		第4試合場		第5試合場	
1	100kg級A 一回戦	1	100kg級B 一回戦	1	73kg級 二回戦	1	100kg超級B 一回戦	1	66kg級 一回戦b
2	60kg級 一回戦	2	66kg級 一回戦a	2		2	81kg級 二回戦	2	
3		3		3		3		3	73kg級 一回戦
4		4	66kg級 二回戦	4		4		4	81kg級 一回戦
5		5		5		5		5	90kg級 一回戦
6		6		6		6		6	
7		7		7		7		7	
8		8		8		8		8	
9		9		9		9		9	
10		10		10		10		10	
11		11		11		11		11	
12		12		12		12		12	
13		13		13		13		13	
14		14		14		14		14	
15		15		15		15		15	
16	100kg級A 二回戦	16		16		16		16	
17		17		17	100kg超級A 二回戦	17		17	
18		18		18		18	100kg超級B 二回戦	18	
19		19		19		19		19	
20		20	100kg級B 二回戦	20		20		20	90kg級 二回戦
21		21		21		21		21	
22		22		22		22		22	
23		23		23		23		23	
24	60kg級 二回戦	24		24		24		24	
25		25		25	73kg級 三回戦	25		25	
26		26		26		26	81kg級 三回戦	26	
27		27		27		27		27	
28		28	66kg級 三回戦	28		28		28	90kg級 三回戦
29		29		29		29		29	
30		30		30		30		30	
31		31		31		31		31	
32	100kg級A 三回戦	32		32		32		32	
33		33		33	100kg超級A 三回戦	33		33	
34		34		34		34	100kg超級B 三回戦	34	
35		35		35		35		35	
36	60kg級 三回戦	36	100kg級B 三回戦	36		36		36	
37		37		37	73kg級 四回戦	37		37	
38		38		38		38	81kg級 四回戦	38	
39		39		39		39		39	
40	100kg級A 四回戦	40	66kg級 四回戦	40		40		40	
41		41		41	100kg超級A 四回戦	41		41	
		42		42		42	100kg超級B 四回戦	42	
		43		43		43		43	
		44	100kg級B 四回戦						
		45							
調整時間 10min									
42	60kg級 準決勝戦A	46	60kg級 準決勝戦B	43	60kg級 5位決定戦A	44	60kg級 5位決定戦B	32	90kg級 準決勝戦
43	66kg級 準決勝戦A	47	66kg級 準決勝戦B	44	66kg級 5位決定戦A	45	66kg級 5位決定戦B	33	
44	73kg級 準決勝戦A	48	73kg級 準決勝戦B	45	73kg級 5位決定戦A	46	73kg級 5位決定戦B	34	90kg級 5位決定戦
45	81kg級 準決勝戦A	49	81kg級 準決勝戦B	46	81kg級 5位決定戦A	47	81kg級 5位決定戦B	35	
46	100kg級 準決勝戦A	50	100kg級 準決勝戦B	47	100kg級 5位決定戦A	48	100kg級 5位決定戦B		
47	100kg超級 準決勝戦A	51	100kg超級 準決勝戦B	48	100kg超級 5位決定戦A	49	100kg超級 5位決定戦B		
決勝戦開始 16:00									
	52	60kg級 決勝戦			表彰式・インタビュー			60kg級 30名	16:15
	53	66kg級 決勝戦			表彰式・インタビュー			66kg級 36名	16:30
	54	73kg級 決勝戦			表彰式・インタビュー			73kg級 33名	
	55	81kg級 決勝戦			表彰式・インタビュー			81kg級 33名	16:45
	56	90kg級 決勝戦			表彰式・インタビュー			90kg級 31名	17:00
	57	100kg級 決勝戦			表彰式・インタビュー			100kg級 34名	17:15
	58	100kg超級 決勝戦			表彰式・インタビュー			100kg超級 33名	17:30
					表彰式・インタビュー			総数 231名	17:45

5 組合せ(トーナメント表)

作成例

抽選で決定した組合せ(トーナメント表)を添付する。

※ 進行や記録として活用する。



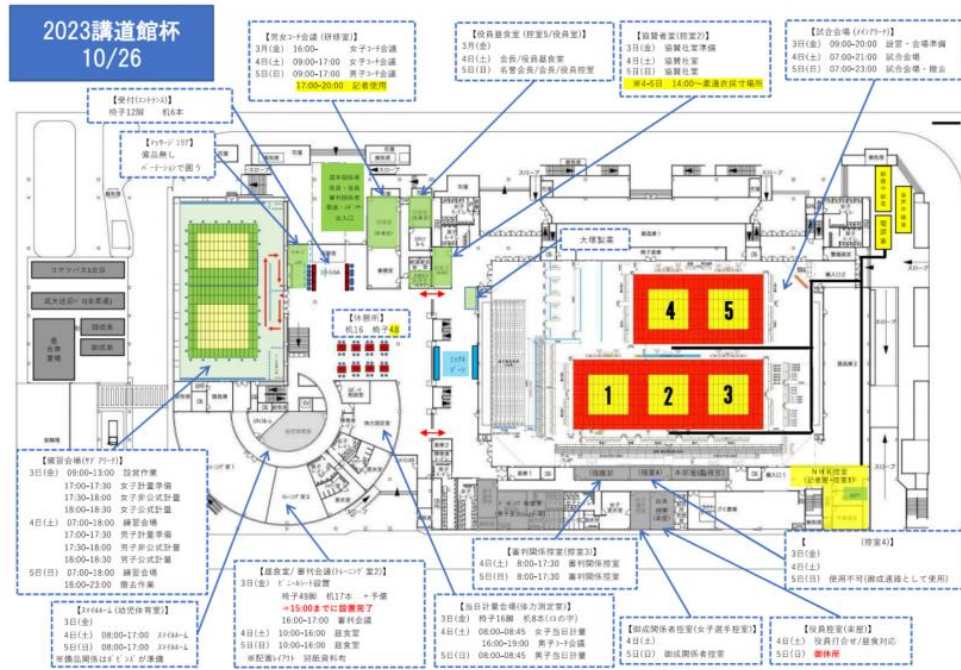
6 会場図面(全体・詳細・試合会場)

作成例

会場施設等の図面を添付する。

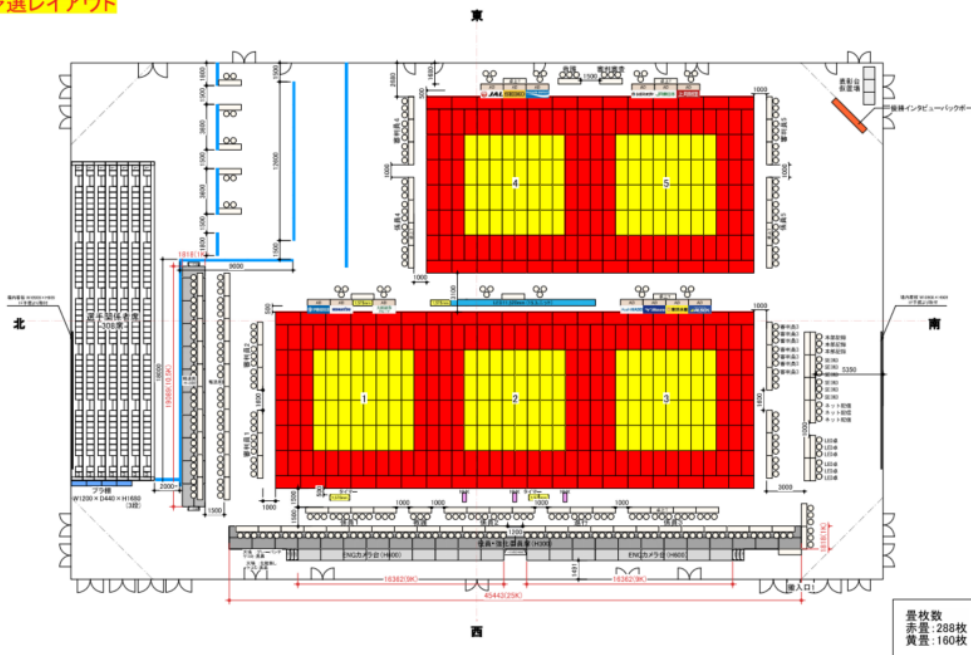
※ 選手動線や会場案内等で活用する。

詳細図



試合会場

予選レイアウト



8 トランシーバー割当表

作成例

大会運営上トランシーバーを活用する場合は、割当表を作成し添付する。

※ 業務上、部別でチャンネルを指定する。

No	役職	氏名	チャンネル
01	会場部長	●● ●●	h1
02	会場係	●● ●●	h1
03	競技部長	●● ●●	h1
04	競技進行係	●● ●●	h1
05	放送係	●● ●●	h1
06	本部記録係	●● ●●	h1・h2
07	試合場統括係(第1)	●● ●●	h1
08	試合場統括係(第2)	●● ●●	h1
09	試合場統括係(第3)	●● ●●	h1
10	試合場統括係(第4)	●● ●●	h1
11	選手係(第1)	●● ●●	h1
12	選手係(第2)	●● ●●	h1
13	選手係(第3)	●● ●●	h1
14	選手係(第4)	●● ●●	h1
15	記録係	●● ●●	h2
16	記録係	●● ●●	h2
17	掲示係	●● ●●	h2
18	掲示係	●● ●●	h2

9 各係マニュアル(競技)①

作成例

競技係員は大会当日に集合する機会が多いため、マニュアルを見て業務内容が分かるような資料を作成することが望ましい。

競技部				
<ul style="list-style-type: none"> * 試合運営全般および試合進行に関すること。 * 三位決定戦まで4試合場で行い、決勝戦を第3試合場で行う。 				
競技進行係				
●● ●● ●● ●●				
<ol style="list-style-type: none"> ① 試合進行表に基づき、各部・各係と連携しながら、試合の円滑な進行を行う。 ② 試合順序・試合会場の変更等について判断し、大会委員長の確認後に関連部署へ指示をする。 ③ 原則として各試合場「男女予選ラウンド 最初の試合」「準決勝戦・敗者復活戦」「三位決定戦」「決勝戦」の始まりを同時スタートで行う。 ④ 各試合場の勝ち上がり各試合場統括と確認し、コンテストオーダーの更新・確認を行う。 ⑤ 決勝戦は、試合が無い試合場係員が補助し、選手・審判員を誘導する。 各階級決勝戦終了後に表彰→優勝インタビューを行う。 				
試合場統括係				
MAT1	●● ●●	MAT2	●● ●●	MAT3 ●● ●● MAT4 ●● ●●
<ol style="list-style-type: none"> ① 担当する試合場における係員の業務全般について把握し、統括する。 ② 試合進行表・コンテストオーダーに基づき、競技進行係の指示に沿って、スムーズな試合進行に努める。 ③ 試合結果を競技進行係にトランシーバーで連絡する。試合記録はPC記録係がPCに入力。 ④ 各階級「一回戦第1試合」「準決勝戦・敗者復活戦」「三位決定戦」「決勝戦」の始まりを同時スタートとし、次回は連続して試合を進める。 ⑤ 決勝戦時は、競技進行係と連携して、選手の出し入れを行う。 ⑥ 競技用具・器具の不足・損傷については、総務係にトランシーバーで連絡する。 ⑦ 主審の指示により、試合場置が出血等で汚れた場合の処置は救護係が行う。 ⑧ 不戦勝の場合、全試合勝ち名乗りを行う。(審判員に情報を入れる) ⑨ 選手が確保できない時は放送係が呼び出しの放送を行うので、本部へ連絡する。1分毎に3回呼び出しをして、試合場に来ない場合は失格となるので、審判員へ不戦勝ちの旨を伝え、片方の選手を試合場へ上げ、勝ち名乗りをさせる。 				
時計係				
MAT1	●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	MAT2	●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	MAT3 ●● ●● MAT4 ●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)
<ol style="list-style-type: none"> ① 操作の方法を担当者より当日の朝(または前日)、指導を受け、操作訓練を必ず実施すること。 ② 電光スコアボードのトラブルに備え、ストップウォッチによる計測も行う。 ③ 黄旗、緑旗は予備として用意するが使用しない。電光スコアボードが故障した際には使用する。 ④ 業務の分担(役割)をし、負担を軽減し、ミスを防ぐこと。 ア 時計係主任(試合場統括係が兼務する場合有り) ※審判ライセンス所有者がのぞましい。 時計係の業務の他、試合場統括、記録係、審判委員、VTR係等と連携を図り、円滑に競技が進むように従事する。 イ タイマー操作/1名 デジタルタイマーの操作(試合時間・抑え込み時間の計測、スコア・ペナルティ等の表示・修正等) ウ ストップウォッチ操作/1,2名 アの操作や機器のトラブルに備えて、試合時間と抑込時間を同時に計測する。 ⑤ 業務におけるトラブルについて ア 副審、審判委員(ジュリー)との連携を図り、ミスの無いように業務を行う。 イ スコア・ペナルティの加除訂正や計測・表示時間を訂正・修正する権限は、主審がもっているため、訂正・修正は、試合継続中あるいは試合中断時に、主審の公式合図(ジェスチャー)あるいは指示で行われるものであり、係員等の判断で訂正・修正はできない。 ウ 係員の方から確認や訂正を進言する場合は、副審または審判委員(ジュリー)に、その旨を伝える。 ※主審・副審ともに畳の上にいる場合は、審判委員(ジュリー)を通じておこなう。また、同様に、審判委員が配置されていない場合は、その場に立ち、手を上げて、審判員に意思表示をすること。 エ タイマーの操作、スコア・ペナルティの加除は、確認呼称などで確認を行い、ミスの無いように正確に行う。 ⑥ 緊張感の中、集中力と慎重さを必要とする業務なので、係員の疲労防止のために、役割の分担や交代委員の準備は配慮すること。 				

9 各係マニュアル(競技)②

作成例

記録係 MAT1 ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)			
① 公式記録の入力はPC記録係が入力を行い、本部記録係 確認後に公式記録として関係各所へ配布される。 ② 試合内容指導やスコアの経過はメモを取り、PC記録係へ伝達する。 ※どちらに指導・スコアが入ったかを間違わないように経過をよく見ること。 ※試合終了後に本部記録係から内容の確認を求められる可能性があるためメモは必ず取ること。 ③ 係員の記入した記録用紙を記録係主任(試合場統括等)が確認し、間違いなければサインをして連絡係へ渡す。 ④ 担当する試合場の勝ち上がりを記入し、2回戦以降の対戦がPC記録係のPCに表示されている内容と相違ないか確認する。 ⑤ トランシーバーを使用して1試合ごとに試合結果を大型ビジョン操作係へ伝達する。			
PC記録係 MAT1 ●● ●● MAT2 ●● ●● MAT3 ●● ●● MAT4 ●● ●●			
① 各試合場に設置されたPCを使用して試合結果を記録していく。 ② 各試合場の記録係と連携して、試合経過・勝敗を入力していく。			
本部記録係 ●● ●● ●● ●●			
① 記録係が記入した記録用紙が本部記録係へ届けられる。 ② 公式記録担当者が記録用紙の内容とPC記録係が入力した内容に相違がないか確認する。 →不備がある場合は本部記録係が調整する ③ 公式記録担当者より提出された記録用紙と出力した記録用紙の内容を係が確認 →不備があれば公式記録担当者へ戻し、修正する。 ④ 確認が済んだ用紙を広報係へ渡し、コピーを替えた用紙を受け取る。 ⑤ 記録用紙は本部記録が階級ごとにまとめ、1日が終わる毎に大会本部へ提出する。			
連絡係 MAT1 ●● ●● (学生) MAT2 ●● ●● (学生) MAT3 ●● ●● (学生) MAT4 ●● ●● (学生)			
① 競技進行係から資料配布がある場合は、取りに行く。 ② 受領した資料を必要部数コピーし、必要個所に配布する。 →配布先:試合場統括係1部、時計係1部、記録係1部、選手係2部(受付・コントロール) ③ 記録係が作成した記録用紙を本部記録係に届ける。			
VTR係 MAT1 ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) MAT2 ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) MAT3 ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) MAT4 ●● ●● (学生) ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)			
① 審判委員の指示に従い、CAREシステムのビデオカメラ操作・録画を行う。 ② トランシーバーを使用して一試合ごとの結果を「大型ビジョン係」「掲示板係」へ報告すること。 ③ 機械のトラブル等があった場合は、総務係にトランシーバーで連絡する。			
掲示係 ●● ●● ●● ●● ●● ●●			
大型ビジョンに試合進行を表示する。結果報告は記録係からトランシーバーで共有される。			
放送係 ●● ●● ●● ●● ●● ●●			
① 試合中、表彰式、大会中の注意事項等に関する場内アナウンスをする。 ② 放送原稿は、総務係が用意する。 ③ 決勝戦より、出場選手・審判員の紹介、試合結果(決まり技も)の放送を行なう。			

9 各係マニュアル(競技)③

作成例

選手係			
MAT1	●● ●● ●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	MAT2	●● ●● ●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)
MAT3	●● ●● ●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)	MAT4	●● ●● ●● ●● ●● ●● (学生) ●● ●● (学生)

【選手受付】

- ① 試合前選手が受付に到着すると、待機席へのアクセス可能を確認し、受付をする。(開始3試合前受付可能)
- ② IDを受取り、コンテストオーダーやトーナメント表に従い、選手の所属、氏名、階級などを確認する。
- ③ 赤白紐を渡す(青色道衣の場合は省略)。

【柔道衣コントロール】

- ① IJF or 全柔連認証ラベルの確認
- ② マーキング(氏名等の表示)の確認
- ③ 測定器等を用いて大きさの確認
- ④ ゼッケン(広告ゼッケン含む)の確認

①～④に問題があった場合、トランシーバーで本部に報告。
競技部長等へ確認したのち、失格の通知をすること。(トラブル防止)

計量係

【前日計量】

- ① 体重計は各階級1台 ※小数点第二の部分はテープ等で隠す。
- ② 体重は小数点第2位までを測定する。
- ③ 計量失格者 アンダー・オーバー の選手には必ず署名させるパスした選手は必要なし。
※73kg級であれば「73.0kg OK」「73.1kg NG」「66.1kg OK」「66.0kg NG」「65.9kg NG」
- ④ 該当している階級が全て終了したら、計量用紙の署名欄にサインする。
- ⑤ 公式計量時間内に選手が来なければ、備考欄に「DNA」(Did Not Appear) と記入する。
- ⑥ 計量結果を総務部総務係へ報告する。

【当日計量】

- ① 前日計量が終了した後、大会副委員長 立ち合いのもと事務局にて抽選を行う。
- ② 9:00～9:45の間で行う。対象者の告知は開始10分前に本人に通知する。
計量会場は、「●●室」で行う。
- ③ 前日計量の用紙を流用して、当日計量を行う。
60kg級 「63.0kg」 66kg級 「69.3kg」 73kg級 「76.7kg」 81kg級 「85.1kg」 90kg級 「94.5kg」
100kg級 「105kg」 100kg超級 「実施しない」

48kg級 「50.4kg」 52kg級 「54.6kg」 57kg級 「59.8kg」 63kg級 「66.2kg」 70kg級 「73.5kg」
78kg級 「81.9kg」 78kg 超級 「実施しない」
※当日計量は時間内であれば 何度も計量可。

式典係

- ① 表彰式の円滑な運営・進行を行う。
- ② 選手の入退場の誘導、および登壇役員の誘導。
- ③ BGM操作→音出しのタイミングを事前に打ち合わせる。
- ④ 放送原稿および図面にてプレゼンター・選手の動線を確認をする。
- ⑤ 三位決定戦終了後から決勝戦開始までの間に、第三位の選手を確保する。※椅子を用意する
- ⑥ 表彰台・賞状(各階級 優勝・第二位・第三位)・賞品(メダル、カップ)の準備・確認。
- ⑦ 決勝戦終了後の閉会式へのスムーズな移行。ドーピングコントロール部・広報部・放送係と連携する。

救護係

- ① 試合中の救護(試合審判規程による処置・診察)を、審判員の指示に従い行う。
- ② 試合中以外の選手の治療を行う。治療結果は報告書に記入する。
- ③ 救急車を呼んだ場合は、総務係に報告する。
- ④ 必要に応じて病院への紹介状を作成する。

2023年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 大会次第・放送原稿

2023年11月4-5日
千葉ポートアリーナ

Time	項目	放送内容	その他
7:45	当日計量対象者発表	出場者へ当日計量の対象者をお知らせします。 60kg級…●番●●選手、●番●●選手 66kg級…●番●●選手、●番●●選手 73kg級…●番●●選手、●番●●選手 81kg級…●番●●選手、●番●●選手 90kg級…●番●●選手、●番●●選手 100kg級…●番●●選手、●番●●選手 100kg超級…●番●●選手、●番●●選手 計量時間は8時から8時45分までとなっておりますので、該当者はサブアリーナ付近の体力測定室にて計量を行ってください。 なお、該当者は全日本柔道連盟HPにも掲載されております。	
8:25	場内アナウンス	会場内の皆様、おはようございます。 「2023年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」2日目にご来場いただき、誠にありがとうございます。 本日は、男子60kg級から100kg超級の計7階級の試合を行います。 試合は9時から開始致しますので、今しばらくお待ち下さい。 観客席は指定席と自由席がございます。自由席には、荷物を置いたり、場所取りなどせず、譲り合ってください。 緊急時、避難の妨げとなりますので、階段や通路には座らないようご協力をお願いします。	
8:28	審判打合せ	間もなく審判員打ち合わせを行います。 審判員は()にお集まり下さい。 ※繰り返し	
8:40	試合場での練習終了	出場者へ連絡いたします。 9時から試合を開始しますので、選手は練習を止めてサブアリーナへお戻りください。	選手にメインアリーナ畳上からの退出を促す
8:50		この後、9:00より試合を開始します。 審判員・係員は準備を行ってください。	
9:00	男子試合開始	ただいまより 2023年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 2日目の競技を開始します。	競技進行→試合場統括 5試合場同時に試合開始
10:00 予定	紀殿下ご紹介	会場内の皆様にご案内いたします。 本大会には、寛仁親王妃信子殿下（ともひとしんのうひのぶこでんか）にご臨席いただいております。	
		以上をもちまして、全ての階級の4回戦までの試合が終了しました。	
14:00頃	会場整理		
	準決勝戦 5位決定戦の案内	この後、__時__分から準決勝戦及び5位決定戦を行います。	プレゼンターの選出 (式典係)
14:15頃	準決勝戦 五位決定戦開始	ただいまより 5位決定戦を開始いたします。	
15:00頃	五位決定戦終了	以上で準決勝戦及び5位決定戦が終了しました。 この後、16時00分より決勝戦を開始します。 審判員・係員は準備を行ってください。 なお、各階級決勝戦が終わり次第、表彰式を行います。 各階級3位の選手は柔道衣を着用しメインアリーナへ入場してください。	
16:00頃	決勝戦開始	只今から、男子60kg級決勝戦を行います。 決勝戦の選手名・審判員リストは別途配布 表彰式の原稿は別紙参照	
	100kg超級のインタビュー終了		
18:00頃	閉会通告	以上をもちまして、「2023年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」を閉会致します。 最後までご観戦いただき、誠にありがとうございました。	

11 放送原稿 決勝戦

作成例

只今より () kg 級 (超級)、決勝戦を行います。

白: _____ 選手 (所属) _____

青: _____ 選手 (所属) _____

主審 _____ 審判員

副審 _____ 審判員、同じく _____ 審判員

◎一本勝ちの場合

ただいまの試合、白 or 青 _____ 選手の (ゴールデンスコアによる) 一本勝ち

決まり技 「 _____ 」

試合時間 _____ 分 _____ 秒

◎合わせ技一本で勝った場合

ただいまの試合、白 or 青 _____ 選手の合わせ技による一本勝ち

試合時間 _____ 分 _____ 秒

◎優勢勝ちの場合

ただいまの試合、白 or 青 _____ 選手の (ゴールデンスコアによる) 優勢勝ち

内容 「 技あり or 有効※全日本用 」

(GS の場合) 試合時間 _____ 分 _____ 秒

◎相手選手の反則負けで勝敗が決した場合

ただいまの試合、相手選手の反則負けにより、白 or 青 _____ 選手の勝利

試合時間 _____ 分 _____ 秒

◎棄権勝ちの場合 ※棄権=試合中に負傷などで続行不可能になったケースを指す

ただいまの試合、相手選手の棄権により、白 or 青 _____ 選手の棄権勝ち

試合時間 _____ 分 _____ 秒

◎不戦勝ちの場合 ※不戦=畳に立つことなく試合を放棄したケースを指す

ただいまの試合、白 or 青 _____ 選手の不戦勝ち

2023 講道館杯／決勝戦→表彰式の流れ

mat2にて決勝戦終了→選手退場

→優勝者はインタビューへ、その他入賞者は「入賞者待機エリア」で待機。

優勝者インタビュー終了後、「入賞者待機エリア」で第2・3位選手3名と合流し、

2位→1位→3位A→3位Bの順番で登壇(選手係がコントロール)

プレゼンターは全柔連・千葉県柔連・講道館(条件付き)の最大3名

選手が表彰台の後ろに並び終わったら放送開始

引き続き、●●kg級の表彰を行います。

第3位	●●	●●選手	(所属)	※3位A
同じく	●●	●●選手	(所属)	※3位B
第2位	●●	●●選手	(所属)	
優勝	●●	●●選手	(所属)	

●●●●よりメダルが授与されます。

3位A→B→2位→1位の順番で授与

●●●●より講道館杯が授与されます。

3位A→B→2位→1位の順番で授与

以下、優勝者が三段以下であった場合のみアナウンスを入れる。

この部分の判断は総務部総務係と講道館審議部で判断しインカムにて通知。

表彰の有無に関わらずプレゼンターを待機席にスタンバイさせておく。

表彰がない場合、対象プレゼンターは登壇しない。

続いて、講道館より表彰を行います。

【パターンA】

本大会優勝者で講道館柔道三段以下の選手には、昇段が認められます。

●●●●より、段証書が授与されます。

※その日最初の表彰時は詳細をアナウンスする

【パターンB】

●●●●より、段証書が授与されます。

※その日2回目以降の表彰時は詳細を割愛してアナウンスする

フォトセッションを行います。

※広報の仕切り：プレゼンターを入れて撮影→プレゼンター退場→選手のみ→選手降壇

以上で表彰を終了します、入賞者に今一度、盛大な拍手をお願いします。

※選手退場後、次の階級の決勝戦へ

13 コンテストオーダー

作成例

1	1回戦	赤	4	関東	岩尾 敬太	ｲｸｲ ｷｲｲ	五段	京業ガス	国土館大学
		白	5	近畿	安達 健太	ｱﾝﾀﾞ ｷﾝﾀ	三段	作陽高校教員	東海大学
2	1回戦	赤	9	東北	佐藤 光	ｼﾞｵ ｷﾐ	四段	秋田県スポーツ協会	國學院大学
		白	10	近畿	中野 寛太	ﾅｶﾉ ｶﾝﾀ	三段	旭化成株式会社	天理大学
3	1回戦	赤	14	九州	尾原 琢仁	ﾋﾞﾗﾞ ｼﾞｸﾞ	四段	旭化成株式会社	筑波大学
		白	15	関東	熊代 佑輔	ｸﾞﾝﾀﾞ ｽﾞｽﾞ	六段	国際武道大学教員	東海大学
4	1回戦	赤	19	東京	松村 颯祐	ﾏﾑﾗ ｽﾞｽﾞ	三段	パーク24株式会社	東海大学
		白	20	北海道	廣海 隼人	ｸﾗｲ ｽﾞﾝ	三段	北海道警察	近畿大学
5	1回戦	赤	24	近畿	酒井 晃輝	ｼｲ ｺﾝ	三段	天理大学4年	福井工大福井高校
		白	25	関東	千野樹 有哉	ﾁﾉ ｼﾞｸ	四段	旭化成株式会社	筑波大学
6	1回戦	赤	29	九州	上林山 裕馬	ｶﾐﾔ ﾏｼﾞﾏ ｺﾞ	五段	福岡県警察	東海大学
		白	30	東北	藤本 智朗	ﾌｼﾞﾓﾄ ｼｲﾚ	三段	弘前大学6年	三木学園白陵高校
7	1回戦	赤	34	北海道	瀧田 真太郎	ﾀｷﾀ ﾏｼﾞﾀﾞ	四段	北海道警察	通都大学
		白	35	東京	石山 潤平	ｲｼﾔﾏ ﾂﾂﾊﾞ ﾟ	三段	パーク24株式会社	天理大学
8	1回戦	赤	39	東京	一色 勇輝	ｲｯｼｸ ﾕｽﾞ	三段	日本中央競馬会	日本大学
		白	40	関東	前田 宗敬	ﾏﾐﾀﾞ ｽﾞﾝ	四段	白衛隊体育学校	東海大学
調整時間 20分									
9	2回戦	赤	1	中国	原沢 久喜	ﾊﾗｽﾞ ﾋﾞｸﾞ	五段	長府工業株式会社	日本大学
		白	2	東京	小原 拳哉	ｺﾊﾞﾗ ｺﾝ	四段	パーク24株式会社	東海大学
10	2回戦	赤	3	九州	川田 修平	ｶﾜﾀ ﾏｼﾞﾁ	三段	旭化成株式会社	明治大学
		白			1の勝者				
11	2回戦	赤	6	北信越	星野 太駆	ｷﾞﾉ ﾀ	三段	新潟県警察	東海大学
		白	7	東京	田嶋 剛希	ﾀｼﾞﾏ ﾏﾞ	三段	パーク24株式会社	筑波大学
12	2回戦	赤	8	関東	新井 通大	ｼﾝｲ ﾏﾞ	三段	東海大学1年	埼玉栄高校
		白			2の勝者				
13	2回戦	赤	11	東京	高橋 翼	ﾀｶﾊｼ ﾀﾊ	四段	国土館大学4年	作陽高校
		白	12	東海	米山 竜生	ﾖｸﾞﾏ ﾚｲ	三段	静岡県警察	東海大学
14	2回戦	赤	13	近畿	西尾 敬	ﾆｼﾓ ﾋﾞ	四段	大阪府警察	天理大学
		白			3の勝者				
15	2回戦	赤	16	東京	グリーン カラニ海斗	ｸﾞﾘｰﾝ ｶﾗﾆ ﾏｲﾄ	三段	日本体育大学4年	日体大荏原高校
		白	17	九州	王子谷 剛志	ﾜｼﾞﾀﾞ ﾏﾞ	六段	旭化成株式会社	東海大学
16	2回戦	赤	18	四国	高木 育純	ﾀｶｷﾞ ﾏｽﾞ	四段	香川県警察	天理大学
		白			4の勝者				
17	2回戦	赤	21	東京	小川 雄勢	ｺｶﾞ ﾕｽﾞ	三段	パーク24株式会社	明治大学
		白	22	九州	七戸 龍	ｼﾁﾉ ﾚｲ	五段	九州電力	福岡大学
18	2回戦	赤	23	東海	近藤 弘幸	ｺﾝﾄﾞ ﾕ ﾋ	四段	愛知県警察	東海大学
		白			5の勝者				
19	2回戦	赤	26	北信越	上野 翔平	ｳﾞﾉ ﾏｼﾞﾁ	三段	石川県警察	筑波大学
		白	27	東京	羽賀 龍之介	ﾊﾞ ﾚｲｼﾞ	五段	旭化成株式会社	東海大学
20	2回戦	赤	28	近畿	安田 夢飛	ｱｽﾀ ﾕ	三段	大阪府警察	国土館大学
		白			6の勝者				
21	2回戦	赤	31	東京	太田 彪雅	ﾀﾀ ﾋﾞ	四段	旭化成株式会社	東海大学
		白	32	関東	田中 航太	ﾀﾅ ﾕ	三段	筑波大学3年	鹿児島情報高校
22	2回戦	赤	33	近畿	奥野 拓未	ｱﾉ ﾏﾞ	四段	大阪府警察	東海大学
		白			7の勝者				
23	2回戦	赤	36	四国	岩崎 恒紀	ｲﾜﺻﺎ ﾕ	四段	香川県警察	中央大学
		白	37	九州	笹谷 健	ｽｽﾞ ﾏﾞ	三段	旭化成株式会社	東海大学
24	2回戦	赤	38	中国	美濃 大将	ﾐﾉ ﾏﾞ	四段	鳥取県警務所	岡山商科大学
		白			8の勝者				

14 資料 タイマー各種リンク(事前確認)

タイマー操作マニュアル(仮)

◦時計係を担当する係員はタイマーの基本操作手順などを事前に確認する。

① SEIKO タイマーホームページ(参考リンク)

https://www.seiko-sts.co.jp/products/detail/sts_1622.html



② 操作方法(参考リンク)

<https://youtu.be/qfxRqBSf8c0?si=PJFWj9YBY0gHGgz>

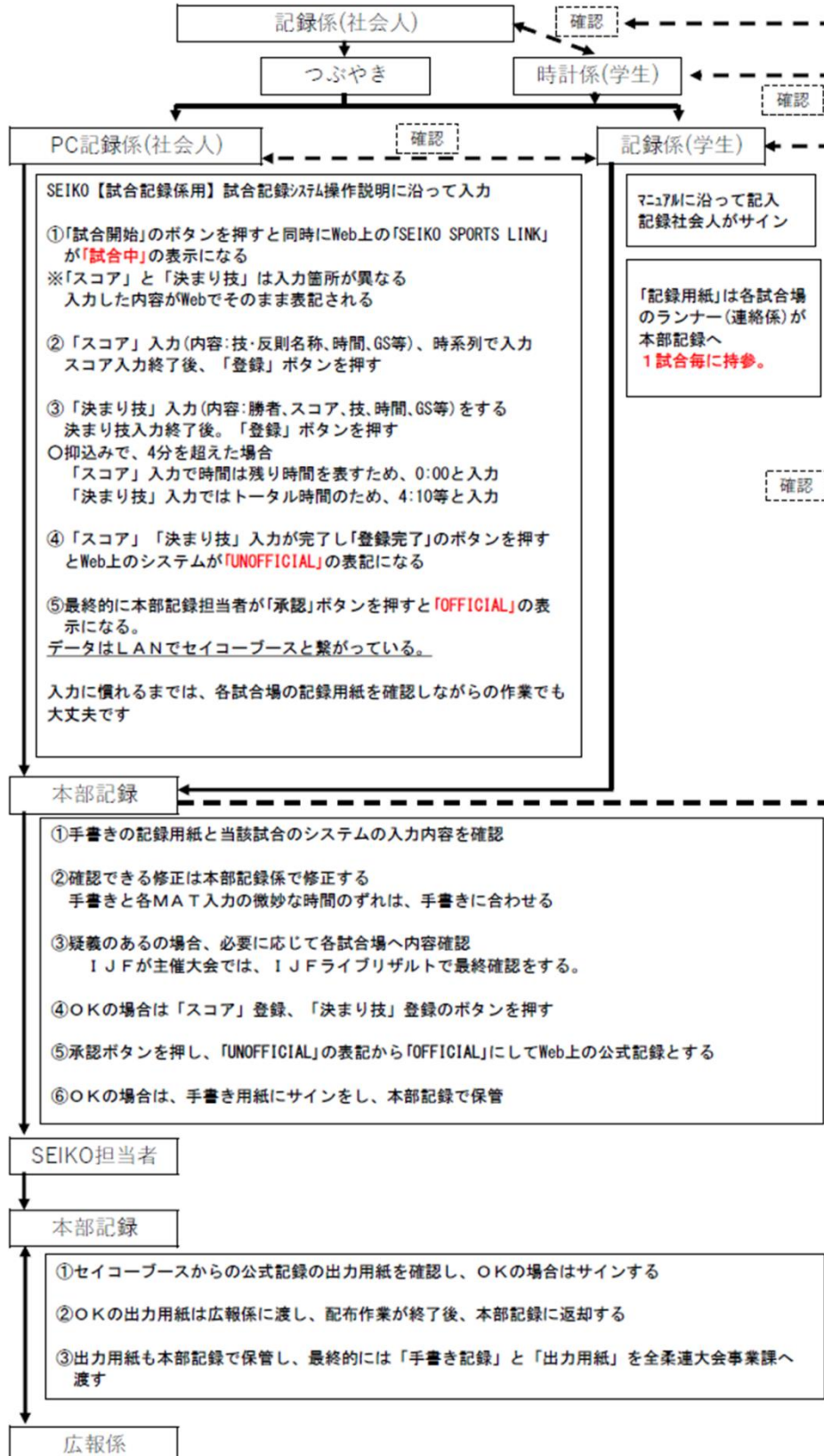


大会時のトラブル防止のために

- 副審、審判委員(ジュリー)との連携を図り、ミスの無いように業務を行う。
- スコア・ペナルティの加除訂正や計測・表示時間を訂正・修正する権限は、主審がもっている。そのため、訂正・修正は、試合継続中あるいは試合中断時に、主審の公式合図(ジェスチャー)あるいは指示で行われるものであり、係員等の判断で訂正・修正はできない。
- 係員の方から確認や訂正を進言する場合は、副審または審判委員(ジュリー)に、その旨を伝える。
- 主審・副審ともに畳の上にいる場合は、審判委員(ジュリー)を通じて行う。また、同様に、審判委員が配置されていない場合は、その場に立ち、手を上げて、審判員に意思表示をすること。
- タイマーの操作、スコア・ペナルティの加除は、発声などで確認を行い、ミスの無いように正確におこなう。

15 資料 SEIKO システムと手書き記録用紙の流れ

SEIKOシステムと手書き記録用紙の流れ



16 資料 技名称リスト

柔道の技名称

1. 投技 (68本)

2. 固技 (32本)

【手技】16本	【腰技】10本	【足技】21本	【真捨身技】5本	【抑込技】10本	【関節技】10本
背負投	浮腰	出足払	巴投	袈裟固	腕鍼
一本背負投	大腰	膝車	隅返	崩袈裟固	腕挫十字固
背負落	腰車	支釣込足	引込返	後袈裟固	腕挫腕固
体落	釣込腰	大外刈	依返	肩固	腕挫膝固
肩車	袖釣込腰	大内刈	裏投	上四方固	腕挫腋固
掬投	払腰	小外刈		崩上四方固	腕挫腹固
帯落	釣腰	小内刈	【横捨身技】16本	横四方固	腕挫脚固
浮落	跳腰	送足払	横落	縦四方固	腕挫手固
隅落	移腰	内股	谷落	浮固	腕挫三角固
山嵐	後腰	小外掛	跳巻込	裏固	足鍼
帯取返		足車	外巻込		
双手刈		払釣込足	内巻込	【絞技】12本	
朽木倒		大車	浮技	並十字絞	
踵返		大外車	横分	逆十字絞	
内股すかし		大外落	横車	片十字絞	
小内返		燕返	横掛	裸絞	
		大外返	抱分	送襟絞	
		大内返	大外巻込	片羽絞	
		跳腰返	内股巻込	片手絞	
		払腰返	払巻込	両手絞	
		内股返	小内巻込	袖車絞	
			蟹挟	突込絞	
			河津掛	三角絞	
				胴絞	

17 SEIKO システム試合記録罰則内容一覧 作成例

試合記録罰則内容一覧 2022/04/01

【指導】	S-1 極端な防衛姿勢・消極的
	S-2 偽装攻撃
	S-3 相手を寝技に引き込む
	S-4 相手の前後に攻撃動作をとらない
	S-5 相手の顔面に手・腕・足・脚をかける
	S-6 場外に出る・押し出す
	S-7 ブロック（ベンディングポジション）
	S-8 標準的でない相手（首抜きを含む）
	S-8 故意に取り組まない
	S-9 標準的でない相手で直ちに攻撃しない （ポケットグリップ、ピストルグリップ、片襟、帯を掴むを含む）
	S-10 防御のために袖口を握り続ける又は捻り絞って握る
	S-11 指を組み合わず・手首（手）を握る
	S-12 袖口・裾口に指を入れる
	S-13 相手の指を逆にとる
	S-14 相手を両手で切る
	S-15 脚・膝を使って相手を切る
	S-16 自分の襟を覆い又は襟を開いて相手に組ませない
	S-17 相手の腕や手を叩いて相手を切る
	S-18 相手の手をブロックする
	S-19 故意に自己又は相手の柔道衣を乱す
	S-20 下半身への攻撃・防御
	S-21 帯・上衣を相手の身体に巻きつける
	S-22 柔道衣を口にくわえる
	S-23 相手の帯・襟に足や脚をかける
	S-24 帯・上衣の裾を使った絞技あるいは直接指で絞める
	S-25 脚を過度に伸展させ関節技・絞技を施す
	S-26 ペアハグ
	S-27 胸絞、顎・頭を脚で挟んで絞める
	S-28 攻撃の意思なく相手の脚を蹴る行為
	S-29 両者立ち姿勢での関節技・絞技を施す
	S-30 脚を巻きつけあるいは外側から押さえて直ちに攻撃しない
	S-31 服装の乱れを自ら直さない（2回目以降）
	S-32 逆背負投
S-33 両手・両肘で背中が着くのを防ぐ	
【反則負け】 その後の試合に出れる	H-1 ダイビング H-2 ヘッドディフェンス
【反則負け】 その後の試合に出れない	X-1 河津掛 X-2 肘関節以外の関節を取る X-3 立ち姿勢で腕挫膝固を掛けながら倒れる X-4 相手の支えている脚を内側から刈る X-5 相手の頭や脊椎・骨髄等に危害を及ぼす X-6 後ろにつく相手を制した後方に倒れる X-7 寝姿勢にある相手を引き上げて突き落とす X-8 主審の指示に従わない X-9 無意味な発声、人格を無視する言動 X-10 硬い物質又は金属の物質を身につける X-11 柔道精神に反する行為 （足を踏んで又は頭髪を掴んで技を仕掛けるを含む） X-12 蟹挟み

記入例(通常の試合)

2023年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会		
千葉ポートアリーナ 2023年11月4-5日(土-日)		

試合日	11/4	試合場	1	試合番号	2
-----	------	-----	---	------	---

男子 -60kg	男子 -66kg	男子 -73kg	男子 -81kg	男子 -90kg	男子 -100kg	男子 -110kg
女子 -48kg	女子 -52kg	女子 -57kg	女子 -63kg	女子 -70kg	女子 -78kg	女子 +78kg
1回戦	2回戦	3回戦	準決勝戦	敗者復活戦	三位決定戦	決勝戦

該当するものに○

白		
No.	氏名	所属
2	柔道 ○子	○□大学

青		
No.	氏名	所属
3	柔道 ×代	○×大学

I	1	W	0	S	2
---	---	---	---	---	---

GS

I	0	W	1	S	1
---	---	---	---	---	---

スコア	技名称/反則状況	残り時間
S1	S-1	3:25
S2	S-4	2:40
I	背負投	0:30

スコア	技名称/反則状況	残り時間
S1	S-1	3:25
W	小内刈	2:00

得点・反則等下記の略語で記入
 一本=【I】 技あり=【W】
 指導1=【S1】 指導2=【S2】 指導3=【S3】
 ダイレクト反則負け=【DH】
 不戦勝ち=【FG】
 棄権勝ち=【KG】

時計の表示時間を記入

時系列で時間ごとに記入し、詰めない

◇記入例◇
 一本(背負投) 技あり(背負投)
 合せ技(背負投-袈裟固)
 合せ技(袖釣込腰-出足払)
 反則負け(指導3)

勝者	
No. 2	柔道 ○子

内容(決まり技)
一本(背負投)

試合時間
3分30秒

主審 No.	副審 No.	所要時間を記入(4:00-残り時間)	本部記録責任者
			△木 △美

試合場責任者	□藤 □雄
--------	-------

17 : 一本=【I】 技あり=【W】
 指導1=【S1】 指導2=【S2】 指導3=【S3】
 ダイレクト反則負け=【DH】 不戦勝ち=【FG】 棄権勝ち=【KG】

試合場社会人係のサイン

本部記録のサイン

18 記録用紙記入例②

作成例

記入例(延長戦GSの試合)

2023年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会
千葉ポートアリーナ 2023年11月4-5日(土-日)

試合日	11/4	試合場	1	試合番号	2
-----	------	-----	---	------	---

男子 -60kg	男子 -66kg	男子 -73kg	男子 -81kg	男子 -90kg	男子 -100kg	男子 +100kg
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------

女子 -48kg	女子 -52kg	女子 -57kg	女子 -63kg	女子 -70kg	女子 -78kg	女子 +78kg
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

1回戦	2回戦	3回戦	準決勝戦	敗者復活戦	三位決定戦	決勝戦
-----	-----	-----	------	-------	-------	-----

白		
No.	氏名	所属
2	柔道 ○子	○□大学

青		
No.	氏名	所属
3	柔道 ×代	○×大学

I	1	W	1	S	0
---	---	---	---	---	---

GS

I	0	W	1	S	0
---	---	---	---	---	---

スコア	技名称/反則状況	残り時間
W	背負投	0 : 30
I	大外刈	2 : 43
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:

スコア	技名称/反則状況	残り時間
W	出足払	1 : 30
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:

GSの場合は「経過時間」を記入する

GSを記入

本戦と延長戦の区別の為、線を引く

4分00秒 (本戦)
+
2分43秒 (延長戦)
=6分43秒を記入する

勝者	
No.	2 柔道 ○子

内容 (決まり技)
GS 一本(大外刈)

試合時間
6分43秒

主審		副審			
----	--	----	--	--	--

試合場 責任者	□藤 □雄
------------	-------

本部記録 責任者	△木 △美
-------------	-------

※7 : 一本 = [1] 技あり = [W]
 指導1 = [S1] 指導2 = [S2] 指導3 = [S3]
 ダイレクト反則負 = [DH] 不戦勝ち = [FG] 棄権勝ち = [KG]

18 記録用紙記入例③

作成例

記入例(「技あり」合せて一本の場合)

2023年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会		
千葉ポートアリーナ 2023年11月4-5日(土-日)		

試合日	11/4	試合場	1	試合番号	2
-----	------	-----	---	------	---

男子 -60kg	男子 -66kg	男子 -73kg	男子 -81kg	男子 -90kg	男子 -100kg	男子 +100kg
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------

女子 -48kg	女子 -52kg	女子 -57kg	女子 -63kg	女子 -70kg	女子 -78kg	女子 +78kg
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

1回戦	2回戦	3回戦	準決勝戦	敗者復活戦	三位決定戦	決勝戦
-----	-----	-----	------	-------	-------	-----

白		
No.	氏名	所属
2	柔道 ○子	○□大学

青		
No.	氏名	所属
3	柔道 ×代	○×大学

I	0	W	2	S	0	GS
---	---	---	---	---	---	----

I	0	W	1	S	0
---	---	---	---	---	---

スコア	技名称/反則状況	残り時間
		:
W	背負投	3:00
W	体落	1:30
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:

スコア	技名称/反則状況	残り時間
W	出足払	3:30
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:

◇記入例◇
 合せ技(背負投-袈裟固)
 合せ技(袖釣込腰-出足払)

勝者	
No.	氏名
2	柔道 ○子

内容(決まり技)
合せ技(背負投-体落)

試合時間
2分30秒

主審	No.	副審	No.	No.	No.

試合場 責任者	□藤 □雄
------------	-------

本部記録 責任者	△木 △美
-------------	-------

※7 : 一本 = 【1】 技あり = 【W】
 指導1 = 【S1】 指導2 = 【S2】 指導3 = 【S3】
 ダイレクト反則負 = 【DH】 不戦勝ち = 【FG】 棄権勝ち = 【KG】

18 記録用紙記入例④

作成例

記入例(「抑え込み」で4分を越えた場合)

2023年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会		
千葉ポートアリーナ 2023年11月4-5日(土-日)		

試合日	11/4	試合場	1	試合番号	2
-----	------	-----	---	------	---

男子 -60kg	男子 -66kg	男子 -73kg	男子 -81kg	男子 -90kg	男子 -100kg	男子 +100kg
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------

女子 -48kg	女子 -52kg	女子 -57kg	女子 -63kg	女子 -70kg	女子 -78kg	女子 +78kg
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

1回戦	2回戦	3回戦	準決勝戦	敗者復活戦	三位決定戦	決勝戦
-----	-----	-----	------	-------	-------	-----

白		
No.	氏名	所属
2	柔道 ○子	○□大学

青		
No.	氏名	所属
3	柔道 ×代	○×大学

I	0	W	2	S	0	GS
---	---	---	---	---	---	----

I	0	W	1	S	0
---	---	---	---	---	---

スコア	技名称/反則状況	残り時間
		:
W	背負投	3:00
W	袈裟固	+0:07
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:

スコア	技名称/反則状況	残り時間
W	出足払	3:30
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:
		:

◇記入例◇
「+」と、4分を越えた時間を記入

勝者	
No.	氏名
2	柔道 ○子

内容(決まり技)	
合せ技(背負投一袈裟固)	

試合時間
4分07秒

主審	No.		副審	No.		No.	
----	-----	--	----	-----	--	-----	--

試合場 責任者	□藤 □雄
------------	-------

本部記録 責任者	△木 △美
-------------	-------

※7 : 一本 = [I] 技あり = [W]
指導1 = [S1] 指導2 = [S2] 指導3 = [S3]
ダイレクト反則負 = [DH] 不戦勝ち = [FG] 棄権勝ち = [KG]

19 資料 ダイレクト反則負け報告書

作成例

発生時、記録係が記入し競技進行係へ提出する。

大会終了後、大会本部へ提出し保管する。

2023 年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
ダイレクト反則負け発生報告書

日 付： _____ 男子・女子 kg 級

回 戦： 1 回戦 2 回戦 3 回戦 4 回戦
敗者復活戦 準決勝戦 三位決定戦 決勝戦

試合番号： _____

赤(白)：No. _____ / _____ 選手(所属： _____)

白(青)：No. _____ / _____ 選手(所属： _____)

ダイレクト反則負けの理由

DHM 選手/理由

上記理由により以降の試合には出場できない。

記入者サイン： _____

審判委員サイン： _____

20 資料 柔道衣コントロール①

認証柔道衣

全柔連主催の指定大会に出場する選手は、全柔連が認証した柔道衣および帯を着用しなければならない。(詳細は全柔連ホームページを参照)

全柔連主催の指定大会以外の大会においても、大会要項に明記するなどして、あらかじめ定めておく必要がある。



全柔連ホームページ
「柔道衣の規格」



全柔連大会事業課作成
「柔道衣コントロールマニュアル」



IJF 作成
「Judogi Control June 2023」

柔道衣測定器

柔道衣の測定をする際は、測定器を使用する。



柔道衣測定器

チェックの体勢

選手は立位でチェックを受ける。腕をまっすぐ伸ばし、掌を開き、指を上に向ける。両手の親指と人差し指を合わせて三角形を作る。

柔道衣コントロール時はこの体勢を崩してはならない。

20 資料 柔道衣コントロール①

チェックの手順

1 ゼッケンを確認する。

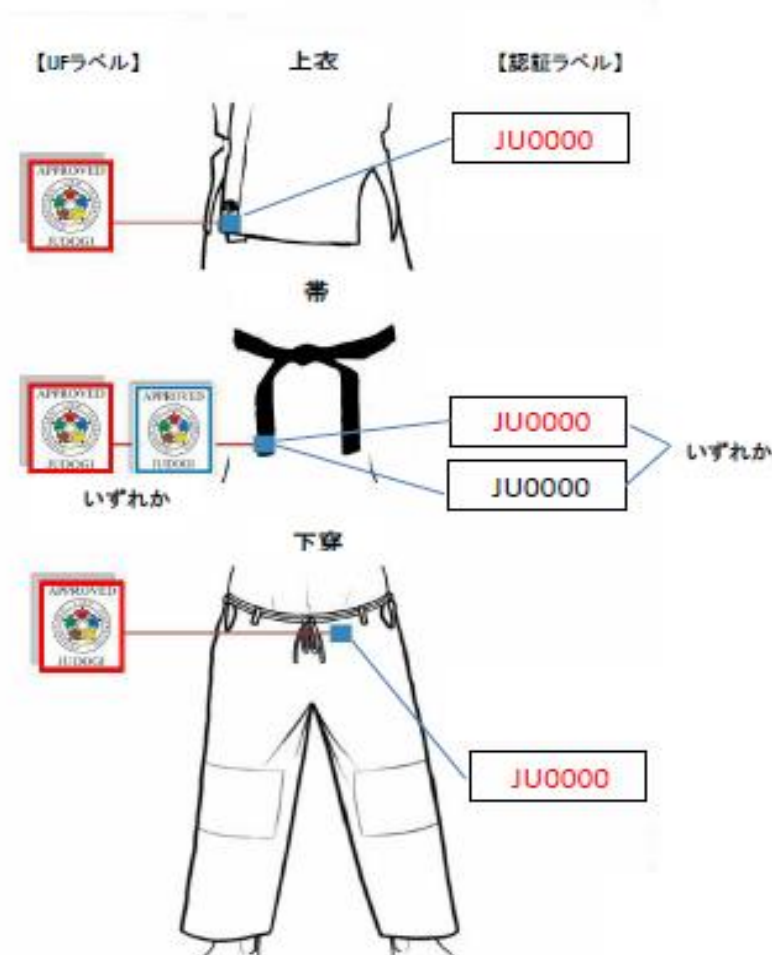
選手名簿(IDカード)に記載された選手名とゼッケンの選手名は合致しなければならない。また、定められた規格や縫い付けがされているか、破れがないかを確認する。

2 柔道衣の衛生状態を確認する。

柔道衣は概ね乾いた状態で、不快な臭いがなく、破れやシミ(血液を含む)がないこと。また、摩耗(特に襟部分)がないこと。

3 柔道衣と帯の認証を確認する。

柔道衣のメーカーは、上衣と下穿きで同一でなければならない、色も同じでなければならない。ただし、帯のメーカーは柔道衣と異なっても良い。



20 資料 柔道衣コントロール②

4 柔道衣の氏名等の表示を確認する。

柔道衣の氏名等の表示

柔道衣上衣及び帯への表示

1 上衣左胸部

- ・所属の表示
(約180cm以内) (縦24cm・横18cm以下)

2 左右の襟裾 (両方可)

- ・所有者氏名
- ・所属の表現
- ・記念を示す表現
- ・立場を示す表現
- ・チーム備品の表現
(表示全長約20cm以下)
- ・講道館柔道衣規格章

3 左襟裾

- ・講道館段位章
- ・全柔連認証ラベル (指定位置)[®]
- ・IJF公認マーク (指定位置)[®]

4 左右袖の上腕部

- ・所属の表現
(約80cm以内、縦10cm・横15cm以下)
- ・所属地域を示す表現

5 左袖の上腕部

- ・製造者マーク 20cm以内 (指定位置)[®]
- ※もしくは、左右の襟裾を含め
3カ所の内いずれか1ヶ所

6 帯の片方

- ・全柔連認証ラベル (指定位置)[®]
- ・IJF公認マーク (指定位置)[®]
- ・製造者マーク 20cm以内 (指定位置)[®]

6 帯の両端

- ・所有者氏名
- ・所属の表現
- ・記念を示す表現
- ・立場を示す表現
- ・チーム備品の表現
(表示全長約20cm以下)

柔道衣下穿きへの表示

7 下穿き上端左右前側 (両方可)

- ・所有者氏名
- ・所属の表現
- ・記念を示す表現
- ・立場を示す表現
- ・チーム備品の表現
(表示全長約20cm以下)

8 下穿き

- ・全柔連認証ラベル (指定位置)[®]
- ・IJF公認マーク (指定位置)[®]

9 下穿き (4ヶ所)

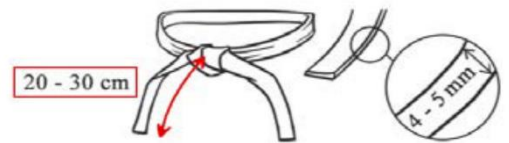
- ・製造者マーク 20cm以内 (指定位置)[®]
(上端から脚のつけねまで、
または裾口から20cmの範囲内の
左右いずれか1ヶ所)

20 資料 柔道衣コントロール③

5 サイズを確認する。

I. 帯

ア. 腰(腰骨の位置)にしっかりときつく締められていることを確認する。



イ. 帯の厚さは4 mm～5 mmであること。

ウ. 中央の結び目から帯の端までの長さは20～30 cmあること。

エ. 帯は硬く滑りやすい素材であってはならず、結び目が固く正しくできるものであること。

II. 上衣

ア. 上衣は完全に臀部を覆っていないといけない。❌

イ. 腕をまっすぐ伸ばした状態で、測定器全体がスムーズに袖の中に入らなければならない。

ウ. 袖は手首の骨(尺骨頭)を含めた腕全体を覆っていること。

エ. 帯の位置で上衣が重なる部分の幅は25 cm以上なければならない。

オ. 襟の厚さは1 cmかそれ以下であること。

カ. 襟の幅は4 cmであること。

キ. 胸骨の一番上から、上衣が重なるところまでの垂直距離は10 cm未満でなくてはならない。



20 資料 柔道衣コントロール④

※ 上衣の前後が同等の長さでお尻を完璧に覆っており、帯から下に出ている上衣の長さが各階級の規程に合っているかを確認。

階級「-48・-52・-57・-63・-70・-60・-66・-73kg 級」

⇒ 20 cm以上であるかを確認。

階級「-78・+78・-81・-90・-100・+100kg 級」

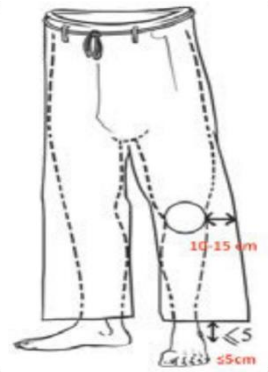
⇒ 25 cm以上であるかを確認。

詳しくはIJF作成の「Judogi Control June 2023」を参照。

Ⅲ. 下穿き

ア. 下穿きの裾口からくるぶしの外側(足首)までの距離は5 cmかそれ以下であること。

イ. 下穿きの幅は、膝の位置で10 cm～15 cmあること。



Ⅳ. 女子のTシャツ

ア. 色は白(透けない)、半そで、丸首とする。

イ. 製造業者マークは、最大 30c m²のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。

ウ. 所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大 100c m²とする。

エ. いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

20 資料 柔道衣コントロール⑤

V. その他

- ア. 規程に満たない場合、短時間に着替えるよう命じなければならない。それでも満たない場合は出場を認めない。原則として、主催者は予備の柔道衣を準備しない。
- イ. 手足の爪は短く切っており、試合者の個人的衛生状態がよく保たれていること。
- ウ. 長い髪は試合相手の迷惑にならないよう束ねてあること。
- エ. マウスピースの着装については、事前に審判員(試合場係員)へ申し出ることによって着装することができる。ただし、白もしくは透明なものに限る。
- オ. 下穿きの下に着けるスパッツ等の長さは、膝よりも短いことを原則とする。
- カ. 入れ墨については、事前に審判員(試合場係員)へ申し出たうえで、シャツやテープ等で隠すこととする。
- キ. 監督(指導者)の服装については、原則として審判員に準じたものとする。

21 資料 計量①

使用物品

- ・ 体重計（デジタルで小数第2位まで計測できるものが望ましい）
- ・ 測定結果記録用紙（選手名表等）
- ・ 筆記用具（青色ボールペンが望ましい）

計量時のルール

- ・ 全柔連主催大会（シニア、ジュニア）の公式計量は試合の前日に実施する。
※県大会等の地方大会及びそれらに準ずる大会においては主催者で判断する。
- ・ 公式計量の際は小数第1位を結果とする（小数第2位は切り捨て）。
※表示には小数第2位をテープ等で目隠しをする。
- ・ 公式計量で体重計に乗るのは1回のみとする。
（一度降りた後は再度乗ることはできない）
- ・ 非公式計量と公式計量を同一の体重計を使用する。
- ・ 選手と同性の係員を配置する。
- ・ 体重計の設置場所は固い床、または厚みのある板の上に乗せる。さらに正確に測定ができるかを確認する。
- ・ 公式計量における選手の服装は下着または裸とする。

小数第二位まで測定できること



テープ等で
見えない様にする

60kg級	順位	所属	所属	身長	体重	身長	体重	所属
1	1	藤田 幸斗	国士館大学	kg	kg	kg	kg	高校部オンライン
2	2	樋口 祐太	大阪府警部	kg	kg	kg	kg	
3	3	樽田 康太	山形学院大学	kg	kg	kg	kg	
4	4	白金 宏都	筑波大学	kg	kg	kg	kg	
5	5	橋田 文悟	日本エースポード(株)	kg	kg	kg	kg	
6	6	伊上 拓実	埼玉三十三銀行	kg	kg	kg	kg	
7	7	田中 心	順天聖大学	kg	kg	kg	kg	
8	8	福田 大和	社団法人高松	kg	kg	kg	kg	
9	9	門田 康紀	天理大学	kg	kg	kg	kg	
10	10	田邊 剛兵	関東高校	kg	kg	kg	kg	
11	11	渡邊 勇	東海けんき習俗館	kg	kg	kg	kg	
12	12	青木 大	奈良科学大学職員	kg	kg	kg	kg	
13	13	久保 寛大	山口商警部	kg	kg	kg	kg	
14	14	村上 一樹	大分商警部	kg	kg	kg	kg	
15	15	藤本 聖太	順天聖大学	kg	kg	kg	kg	
16	16	高野 直輝	徳化成(株)	kg	kg	kg	kg	
17	17	藤田 龍生	藤上白書院第一学園	kg	kg	kg	kg	
18	18	田中 祥	國學院大学	kg	kg	kg	kg	
19	19	山科 雄也	山形学院大学	kg	kg	kg	kg	
20	20	橋田 大晃	筑波大学	kg	kg	kg	kg	
21	21	田中 悠輝	天理大学	kg	kg	kg	kg	
22	22	南 大樹	日本文化大学	kg	kg	kg	kg	
23	23	中村 大樹	国士館大学	kg	kg	kg	kg	
24	24	市川 龍之介	福岡商業部クリニック	kg	kg	kg	kg	
25	25	矢野 武成	明治大学	kg	kg	kg	kg	
26	26	山口 心	養和大学	kg	kg	kg	kg	
27	27	堀山 行	パーク24(株)	kg	kg	kg	kg	
28	28	足立 悠哉	天理大学	kg	kg	kg	kg	
29	29	関谷 仁哉	北海道警部	kg	kg	kg	kg	
30	30	下平 崇哉	山形学院大学	kg	kg	kg	kg	

21 資料 計量②

計量の流れ

- I. 公式計量前
- ・ 体重計の準備および確認。
重量が記載してある重り等を使用し、体重計の表示が正確であるかを確認する。また複数の体重計がある場合は、同じ計測結果となるかを確認する
- II. 非公式計量開始
- III. 公式計量直前
- ・ 再度体重計の動作確認を行う。
※全柔連主催大会では計量責任者、強化委員で行う。
 - ・ 計量会場内から選手以外を退出させる。
 - ・ 計量責任者が計量の流れ、ルールについて計量責任者が説明。
- IV. 公式計量開始
- ・ 選手は ID カードを提示し、チェッカー（※1）が記録表と照合する。
 - ・ コントローラー（※2）の指示で体重計に乗る。
（体重計の中心に乗るように指示）
 - ・ 体重計の表示が止まるまでは、体重計から降りさない。
 - ・ 体重計の表示が止まったのを確認後、チェッカーが体重を読み上げ、選手に体重を確認させて降りる指示をする。
※計量失格の場合は、選手に体重の表示を確認させ、記録表に体重を記入後、当該選手のサインを記入させる。

21 資料 計量②

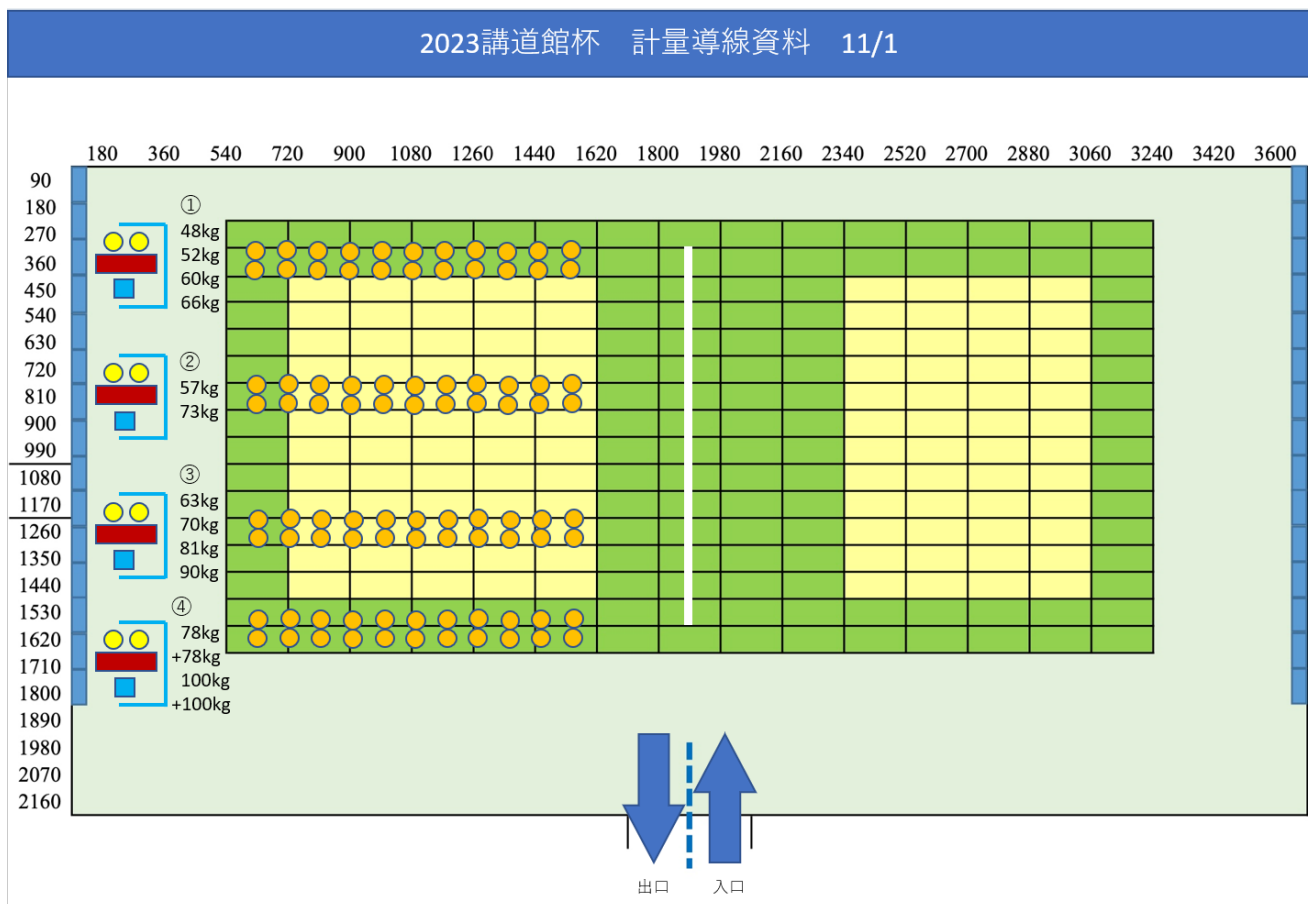
※公式計量終了時間までに来なかった選手は、計量担当者が記録表の当該選手サイン欄にDNA (Did Not Appear) と記入する。

※全柔連主催大会において、公式計量結果が非公式計量結果と異なる場合は、計量責任者又は計量を担当している強化委員に対し異議申し立てを行うことができる。

※1 チェッカー⇒ 選手確認・体重読み上げ・記録担当者

※2 コントローラー⇒ 選手導線の確保と体重測定のタイミング指示者

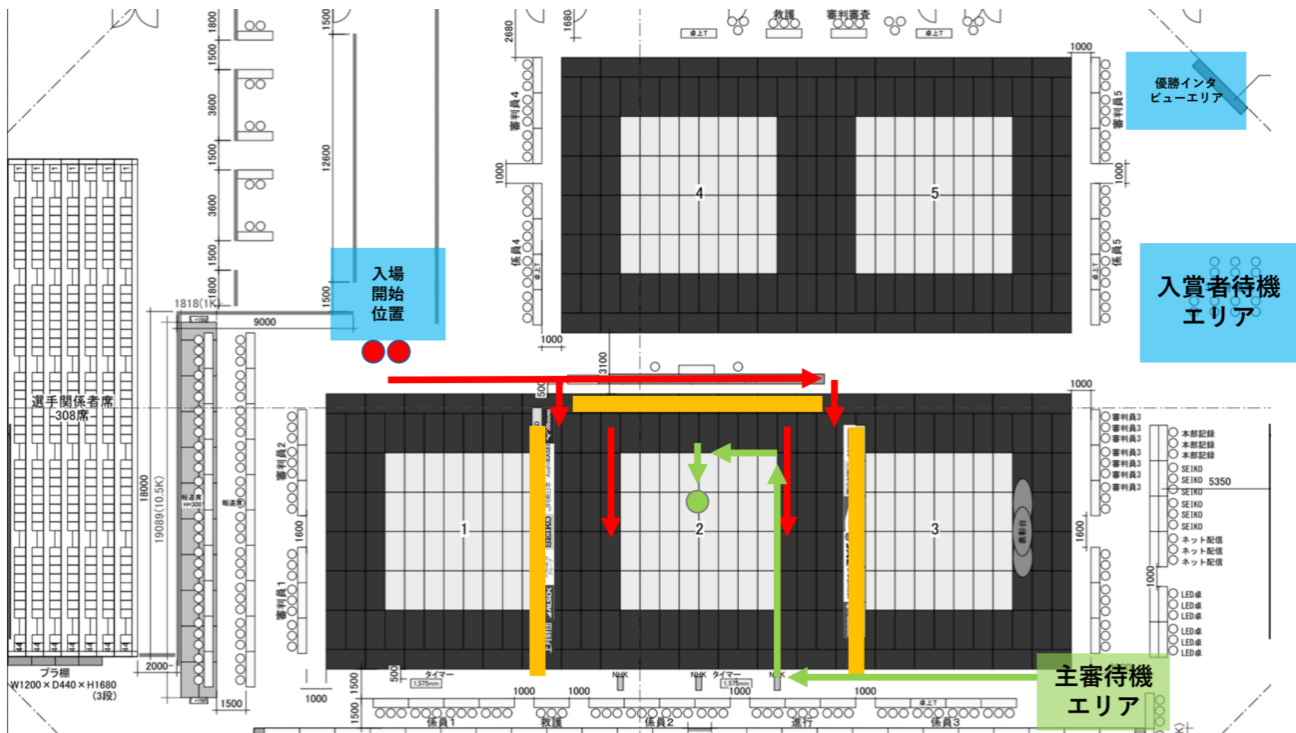
計量動線



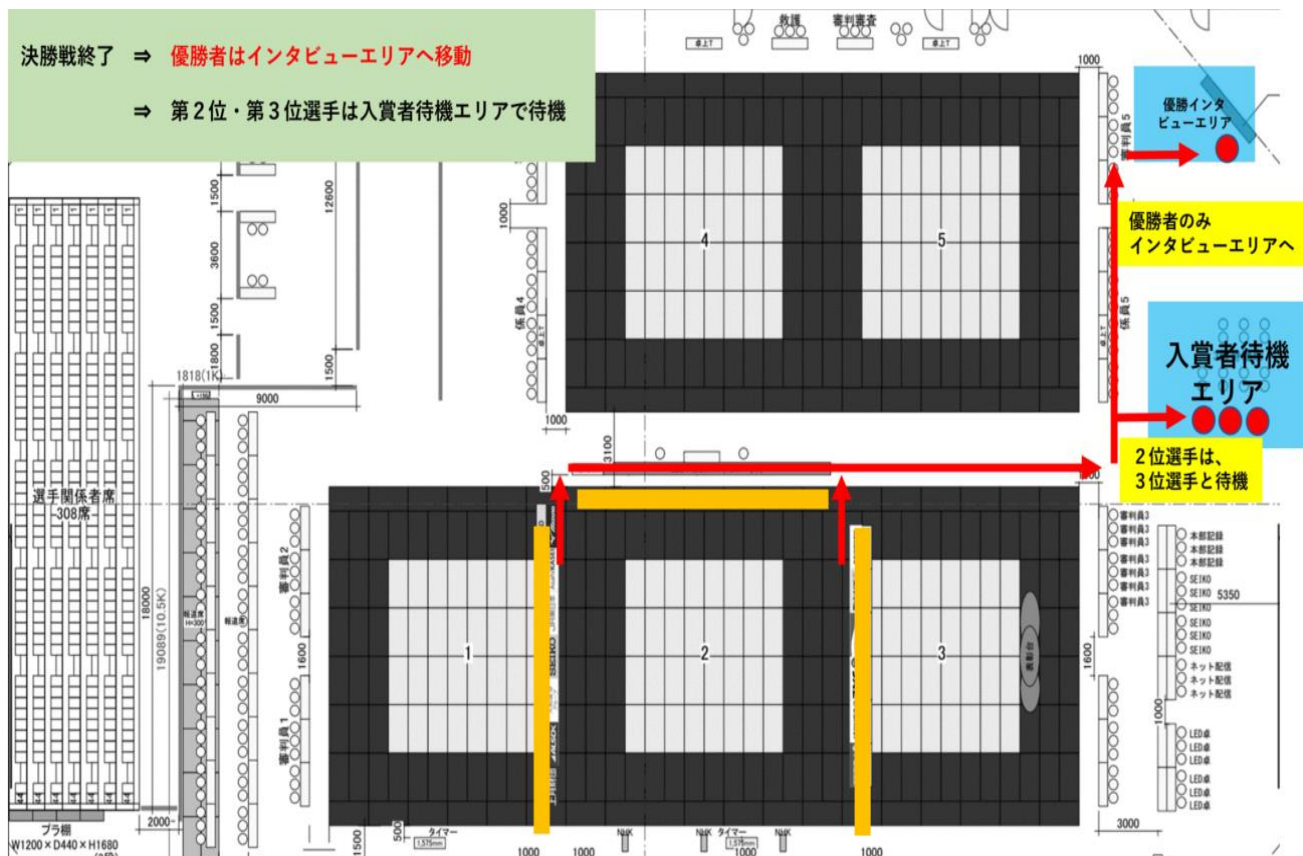
22 資料 動線図①

作成例

決勝戦



優勝者インタビュー



22 資料 動線図②

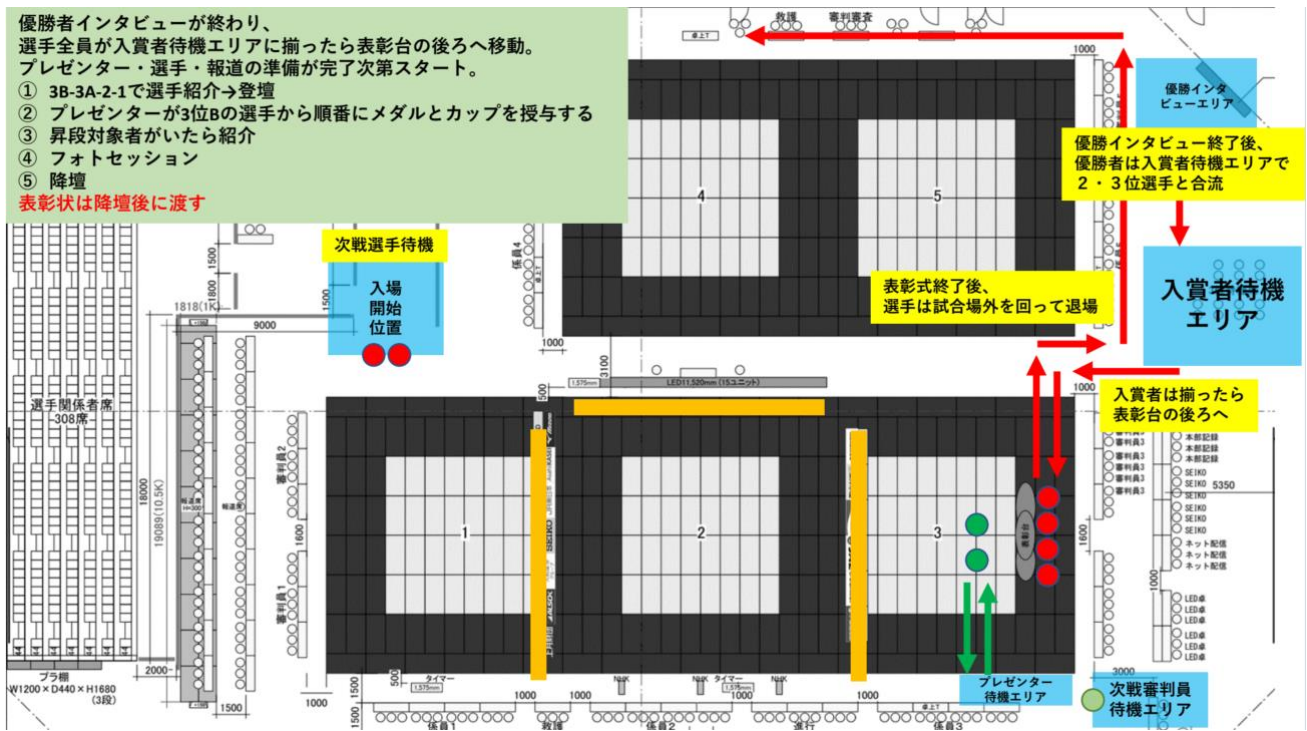
作成例

表彰式

優勝者インタビューが終わり、選手全員が入賞者待機エリアに揃ったら表彰台の後ろへ移動。プレゼンター・選手・報道の準備が完了次第スタート。

- ① 3B-3A-2-1で選手紹介→登壇
- ② プレゼンターが3位Bの選手から順番にメダルとカップを授与する
- ③ 昇段対象者がいたら紹介
- ④ フォトセッション
- ⑤ 降壇

表彰状は降壇後に渡す



23 資料 審判員リスト

作成例

令和●年度●●●●柔道体重別選手権大会 審判関係者一覧

No	所属	役職	氏名	年齢	段位	勤務先	関係所属	IJF状況	S
1	東京	審判長	●● ●●		八段	●●●●●	●●●●●大学	在外-参加	S
1	東京	審判審査委員	●● ●●		八段	●●●●●	●●●●●大学		
2	北海道	審判審査委員	●● ●●		七段	●●●●●	●●●●●大学		
3	長野	審判審査委員	●● ●●		八段	●●●●●	●●●●●大学		
1	山形	審判委員	●● ●●		七段	●●●●●	●●●●●大学		S
2	群馬	審判委員	●● ●●		七段	●●●●●	●●●●●大学	在外-参加	S
3	東京	審判委員	●● ●●		六段	●●●●●	●●●●●大学	在外-参加	S
4	東京	審判委員	●● ●●		六段	●●●●●	●●●●●大学	在外-参加	S
5	東京	審判委員	●● ●●		八段	●●●●●	●●●●●大学	在外-参加	S
6	大阪	審判委員	●● ●●		六段	●●●●●	●●●●●大学	在外-参加	S
7	宮崎	審判委員	●● ●●		八段	●●●●●	●●●●●大学	在外-参加	S
1	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
2	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
3	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
4	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
5	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
6	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
7	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
8	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
9	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
10	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
11	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
12	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
13	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
14	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
15	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
16	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
17	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
18	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
19	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		
20	●●	審判員	●● ●●		段	●●●●●	●●●●●大学		

令和●年度●●●●柔道体重別選手権大会

【欠場選手】

階級	No.	氏名	所属

【失格選手】

階級	No.	氏名	所属

2023.12.15 現在

「大会競技係員資料作成のためのガイドライン2023」

2023年12月 監修者 執筆者一覧

【全日本柔道連盟大会事業委員会】

委員長 岡泉 茂

副委員長 小池 雅彦

” 山岸 裕二

” 吉田 敏男

委員 秋山日向子 石山 隆英 岩田 千絵
福地賢志郎 松岡 圭一

特別委員 井上 喜一 岡田 龍司 小坂 良行
鈴木 英雄 高橋 靖信 田中 寿人
福田 隆文 前田 城治 村田 豊

大会係員競技資料作成のためのガイドライン2023

2023年12月15日 第一版発行

発行：公益財団法人 全日本柔道連盟

〒112-0003

東京都文京区春日 1-16-30（講道館内）

【TEL】 03-3818-4199

【FAX】 03-3812-3995